

研究課題名	腹腔鏡下右側結腸切除に対するトライステーブル TM リンフォースカートリッジを用いた機能的端々吻合の有用性に関する臨床研究
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 外科 氏名 西野 将司
研究期間	2021年11月1日 ～ 2022年3月31日
研究の意義・目的	右側結腸手術の再建においては器械を用いた機能的端々吻合 (Functional end-to-end anastomosis: 以下, FEEA) が主流となっている。本邦のNCDによれば2011年から2013年の集計では消化管縫合不全が1.7%に生じるとされており, その発生は再手術や術後在院日数の延長に繋がるため, 未然に防ぐための工夫は重要である。当院ではFEEAの際に, コヴィディエン社のトライステーブル TM リンフォースカートリッジ (TR) を用いており, 今回はその有用性を検討する。
研究の方法 (対象期間含む)	2018年3月から2021年3月に当院で施行した右側結腸切除術のうち, 開腹手術・緊急手術を除いた, D3郭清を伴う腹腔鏡補助下右側結腸切除術でFEEAにて再建した症例を対象とする。当院では, 鏡視下に結腸授動および中枢郭清を行った後に, 体腔外で標本摘出と再建を施行する。再建は自動縫合器を4回使用するclosed法によるFEEAで行うが, 従来はすべて同じカートリッジで行っていたところを, 2019年11月以降は4回目の挿入共通孔の閉鎖にTRを用いて行っている。本研究では, 従来群とTR群の2群に分け, 術後の短期成績に関して比較検討する。消化管縫合不全に関してはClavien-Dindo分類II以上の縫合不全ないし腹腔内膿瘍を伴うものと定義する。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む)	①電子カルテ上での情報収集を行い, 匿名化の上で統計処理を行う。 ②電子カルテ上から得られる情報で術後短期成績に関連のある項目 ③研究責任者のみに限定する。 ④〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 外科 氏名 西野将司
②利用し、又は提供す る試料・情報の項目	
③利用する者の範囲	
④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 外科 氏名 西野将司 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525